

POSレジソリューションシステム

Scubism

Surprise, Solution, Story

株式会社エスキュービズム

EC-Orange POS

POSレジ機能をタブレット端末に詰め込んだPOSシステム。Windows 8 タブレットを活用した顧客管理(CRM)に強いタブレットソリューションとして質の高い接客や業務効率化を実現します。



国内初。Windows 8 タブレット対応POSとして、流通小売や飲食店などに 150社に導入。トップシェアの実績でお客様の店舗をスマート化します。クラウド対応しておりますのでスモールスタートも可能です。

メリット

レジ会計も日報などの店舗業務もこれ一台。Windows 8 だから実現できることは、Microsoftオフィス製品(Excel等)群をそのままタブレットで使える。周辺機器との連携が簡単! USB接続でキーボードやバーコードリーダー等の周辺機器との連携が簡単。



※HP ElitePad900のイメージ

主な機能

「接客の質を向上」…購入履歴、来店メモ、顧客カルテなど既存顧客を囲い込みする機能が標準搭載!
「多店舗対応」…多店舗にも対応しており、500店舗以上のチェーンで導入実績あり
「O2O対応」…EC-Orangeと連動することで、ECと店舗のオンラインtoオフラインを実現します!
「多彩な分析機能」…豊富な分析機能を備え店舗運営に役立つデータ取得が可能です。

運用例



導入手順

- ① お申込み
- ② Windowsストアからダウンロード
- ③ ご納品

※お申込みいただかない限り、ストアからはダウンロードしても操作できません

クライアント動作環境

対応OS	Windows 8/8.1, iOS 5.1以上
動作条件	.NET Framework 4のインストール環境インターネットへの接続環境

商品URL
<http://ec-cube.ec-orange.jp/pos/>

POSレジソリューションシステム：利用シーン

Scubism
Surprise, Solution, Storyジュンク堂書店 台湾店から始まる小売の未来
グローバル対応のタブレットPOSレジを台湾で導入

Windows XPのサポート終了に伴い、流通小売の店舗にあるパソコンを買い替える時期が迫っている。

店舗運営に必要なシフトや日報などはMicrosoft OfficeのExcelなどを活用することが必須な企業が多い中、Windows 8 タブレット1台でPOSレジから店舗業務まで全ての業務を行うことが実現できる。

一. 導入の経緯

ジュンク堂書店の従来からのレジシステムがWindows XPを使用。

まもなくサポートが切れるため新たなシステムへ切り替えたいということで、便利なシステムを搭載した色々なレジを検討していたが、セルフレジにするには導入にあたり問題点が多かったため、株式会社エスキュービズムが提供するEC-Orange POSの導入を決定した。

EC-Orange POSは、Windows 8に国内で初めて対応したPOSアプリケーション。Eコマースの構築のノウハウから得たCRM(カスタマーリレーションマネジメント)が特徴で、顧客の購買履歴の閲覧や会話メモなどの機能を標準搭載した次世代POSとして大手のチェーン店での導入が多く決定している。

Eコマースと店舗の在庫情報や会員情報を統合したO2O(オンラインtoオフライン)を実現している。

今回の導入に関しては日本からは始める前に、世界でも使えることを視野に入れて試したいとの思いから、先行して台湾店での導入が決まった。

二. 独自カスタマイズの内容と特徴

台湾でのEC-Orange POS システムは、書籍販売の特有の機能と海外で導入ということもあり、独自のカスタマイズ



ズ開発に対応。アルバイトスタッフでも簡単に操作できるように設計されたWindows 8 タブレットらしいUI(操作性)をベースに以下の五点を特徴として兼ね備えている。

まず一点目は、日本円から台湾ドルへの換算(変動レート)システムだ。現地の通貨レートへの変換ができる。簡単にアイコンで切り替えるだけなので、面倒な入力作業も計算も不要なため、専門の知識がなくともスタッフ簡単に操作できる。

二点目は、課税・免税商品への対応だ。現地では雑誌・書籍などの区分で課税・免税が分けられており、日本の消費税のように一律5%などという形ではない。この部分に対応できるように、課税・免税に対応できるようにアイコンが設けられている。こちらもアイコンでの切り替えなので、とても操作が簡単だ。

三点目は、書籍・雑誌バーコードへの対応だ。書籍が2段26桁のコード、雑誌が18桁のコードでそれぞれできており、これらのバーコード区分に対応させるカスタマイズがなされている。なお、この

バーコードには金額情報が含まれており、サーバーに取得しに行くことなく情報を読むことができるため、催事などでも使うことができる。

そして四点目は、集合レジ対応だ。台湾ジュンク堂では、書店側のレジでは「計算書」の発行のみとなり、実際にお金はデパートの集合レジで支払いをする仕組みになっている。このため、集合レジに対応したバーコードを印字した計算書を発行できるようにカスタマイズされている。

最後に五点目は簡易会員購入機能だ。購入時に会員検索を実施し、未登録の場合、自動的に新規登録画面に遷移。新規登録をし、カードを任意のコードを付与して発行。管理画面での登録無しに、カード読み取りのみで運用ができるよう開発されている。

このように台湾ジュンク堂では、先進的に未来の小売の形を実現している。ジュンク堂を皮切りに、世界の小売の姿はWindows 8 タブレットを活用して大きく変容していくことだろう。